

町民まちづくり会議に参加いただく皆様へ

いま、町では次の10年に向けて、まちづくりの指針となる「第2次安平町総合計画」を策定しています。自分が住む町に誇りと愛着、幸福感を感じながら、これからもずっと住み続けたい・・・誰もが願うことです。この願いを実現するには、町民の皆さんと一緒に考えた10年後の安平町の将来像という目標が必要です。

10年後・・・皆さんは、安平町にどんなまちになっていて欲しいですか？

そして、皆さんの力で どんなまちにしていきたいですか？

将来こうありたいと思えるまちづくりに活用できる安平町の自慢・良さなど「強み」は何がありますか？

普段の生活で、これから大きなまちの強みになるかもしれない可能性を秘めていると感じるものはないですか？

町民まちづくり会議は、安平町の10年後の創造に向け、皆さんと役場職員と一緒に考えるワークショップです。

お問い合わせ先 安平町役場（早来庁舎）  
電話：0145-22-2751

企画財政課企画グループ（担当：岡、木村、笹山）  
e-mail：kikaku@town.abira.lg.jp

## 町民と行政が一緒につくる「第2次安平町総合計画」とは？

- ◇社会全体がどんどん複雑になる中、まちづくりに対する町民の「思い」や「考え方」など価値観も『十人十色』であり、地域の問題をもはや行政だけで解決することは難しい時代になってきています。
- ◇これからは「行政の考え」と「住民の皆さまの考え」をしっかりと話し合いながら、地域課題をみんなで解決していく必要があります。安平町では、「安平町まちづくり基本条例」を制定し、その第11条で「町民のまちづくりに関する情報を知る権利」「まちづくりに参画して意見を述べる権利」「町民自らが主役としての責任と役割を担い、積極的にまちづくりに参画することができる権利」を定めました。
- ◇この先10年のまちの方向性を決める「第2次安平町総合計画」は、町民一人ひとりのまちづくりへの関心を高め、郷土への誇りを育むため、町民と行政の役割・責任を確認しながら、多くの町民に参画いただき策定していきます。



## 総合計画策定における町民参画とは？

- 「安平町まちづくり基本条例」とともに「安平町町民参画推進条例」を制定
- 町民参画の対象となる重要施策と町民参画の実施方法をルール化

町民の皆様から幅広く意見を伺う重要施策とは

▷ **総合計画**や町の基本的な政策を定める計画の策定など

▷ まちの基本方針を定めるルール・町民に義務を課するルールなど

▷ 5億円を超える大きな施設を建設しようとする場合など

町民参画として用いる手法とは

▷ パブリック・コメントや**アンケート調査**、モニター制度など、広く意見募集する手法

▷ 町民説明会や**ワークショップ**など、町民の皆様との対話・意見交換を行う手法

▷ **グループ会議**など、同一メンバーによる複数回の継続的な討議を行う手法

既に町民アンケートや100人町民フォーラム、団体ヒアリングなど、多様な町民意見を広く集めていますが、今後具体化が必要です。



# 総合計画策定における「町民まちづくり会議」の位置付けは？

## 計画策定体制のイメージ

まちづくり基本条例に基づく「町民参画」「協働」「情報共有」が重要キーワード

多様な意見を集める機会

### 町民参画

#### 町民意識調査

- 町民意識や施策ニーズ等アンケート調査  
\*全戸対象

#### 団体ヒアリング・座談会等

- 地域団体、経済団体等へのヒアリングや新規転入者等を対象とした座談会等を実施

#### あびら夢・未来100人町民フォーラム

- 将来像・将来テーマの設定に向けた、安平町の地域資源や地域の強みの洗出しをワークショップ形式で実施

#### 案に対する町民意見聴取

- 基本構想及び基本計画の案について、町民から意見を求める。

#### 政策提案制度の活用

- 町民参画条例に基づく政策提案

### 町民まちづくり会議

一般町民・各種行政委員・未来創生委員会委員などの町民と行政(専門部会)による基本構想素案の検討(行政と町民の協働(役割分担)の観点で各部会で意識) \*無報酬会議(町民36名と行政職員)

① 住民生活部会	分野	環境、衛生、循環型社会形成、交通安全・防災	② 経済産業部会	分野	農業全般、商工、工業、企業、観光、雇用等
	人数	町民：6名 行政担当：2・3名		人数	町民：6名 行政担当：2・3名
③ インフラ部会	分野	道路整備、住宅、道路・河川、土地保全、通信等	④ 健康福祉部会	分野	福祉、保健・医療、保健、介護等
	人数	町民：6名 行政担当：2・3名		人数	町民：6名 行政担当：2・3名
⑤ 子育て・教育部会	分野	子育て支援、学校・社会教育、文化・スポーツ	⑥ 行政運営部会	分野	参画、協働、情報共有、地域間交流、行革、財政等
	人数	町民：6名 行政担当：2・3名		人数	町民：6名 行政担当：2・3名

具体化&選択と集中

### 策定アドバイザー

- 総合計画策定に当たって、各種協議への出席により助言・提案等を行う。

### 未来創生委員会

- 委員14名：外部有識者4名
- 基本構想・基本計画の答申
- 計画の進行管理

相談・助言 ↓ ↑

↓ 諮問・答申 ↑

### 行政(町長)

未来創生本部会議(本部長：町長、庁内会議)

#### 【庁舎内協議】

- 現計画達成状況調査
- 庁舎内各課ヒアリング
- 町長・副町長・教育長ヒアリング

### 【専門部会(各ワーキンググループ)】

- ① 住民生活WG
- ② 経済産業WG
- ③ インフラWG
- ④ 健康福祉WG
- ⑤ 子育て・教育WG
- ⑥ 行政運営WG

- 課長職をリーダー
- 所管課長への詳細報告
- 基本目標、重点課題の検討
- 町民まちづくり会議との協議調整
- 個別計画との整合性検討

町民まちづくり会議の区分とセット

事務局：企画財政課企画グループ

各組織の会議運営・補助、組織間の連絡調整、施策の体系化整

情報共有  
協働

協議  
集約

今まで集められた多様な意見を具体化し、選択・集中するのが、皆様に参加いただく「町民まちづくり会議」です。

## みんなで考える「まちの将来像」って？

出典：100人フォーラム講演資料(北海学園大学菅原教授)

### 「総合計画をつくる」ってどういうこと？

- ◇10年後の安平町がどのような姿であるべきか、どのようにしたいのかという将来像を設定し、その将来像を実現するため、何をすべきかを決めることです。
- ◇だから、「将来像」の設定は、将来の目標であり大変重要です。
  - ・どんなまちになっていくべきか・・・みんなが具体的にイメージできる将来像
  - ・他市町村とは異なる、安平町ならではの将来像



- ◇どんなまちになっていくべきか・・・そのまちのことが一番よくわかっているのは、安平町に住んでいる私たちです。
- ◇安平町が良くなったり、逆に悪くなったりすることの影響を一番受けるのは、安平町に住んでいる私たちです。



町民の皆さんと一緒に考える将来像が、向こう10年間の目標になります



## 将来像を決めるにあたっての考え方とは？

「まちの強み」「まちの弱み」ってどういうこと？

- ◇安平町には他のまちに負けない「自慢」「希望」「宝」などの『強み』があります。
- ◇反面、「課題」「問題」「大きな都市との実力差」などの『弱み』もあります。
- ◇弱みを克服する将来像を描くべきか それとも 強みを活かして将来像を描くべきか



将来像を決めるにあたっては「強み」を活かす方が簡単（実現可能）です。



- みんなが具体的にイメージできる将来像
- 他市町村とは異なる、安平町ならではの将来像



他のまちに誇る「強み」 他のまちにない安平町の「強み」を、  
どれだけ探せるかが、将来像を決める上で大きな鍵を握ります。



<参考資料> アンケート調査や100人フォーラムで町民から「強み」要素は出されましたが、まだ「強み」にまで至っていません。

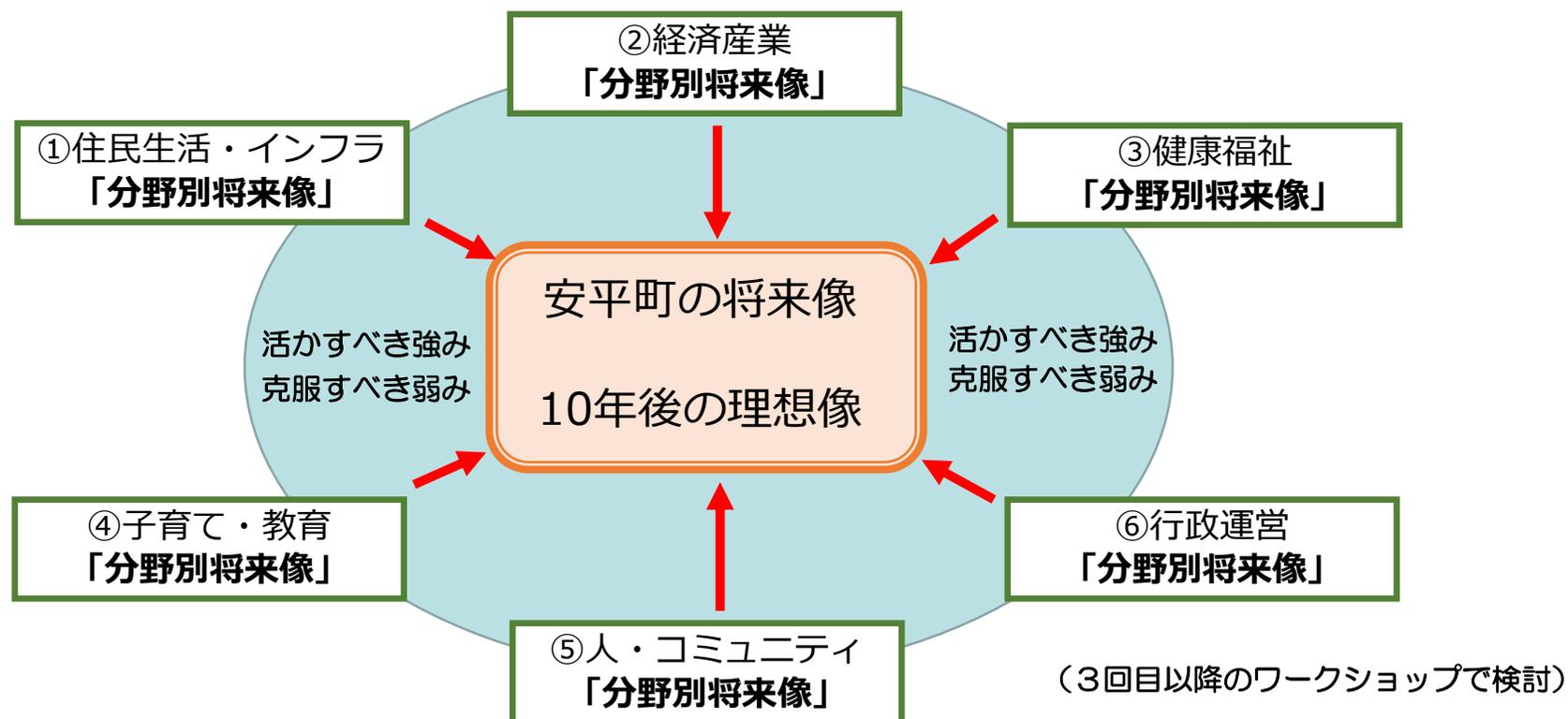
大分類	No	選んだ強み	小分類
自然・環境	1	お年寄りが住みやすい	1環境
	2	田舎なので雪かきが比較的キレイ（細かく除雪してくれる）	1環境
	3	ララタウンに電線がない（たこあげ・ドローンがあげられる!?)	1環境
	4	比較的雪が少なく寒さも厳しすぎない	1環境
	5	畑の高低差が良い	1環境
	6	自然環境に恵まれ、平坦で広大な土地がある	1環境
	7	災害が少ない	1防災
	8	治安が良い	1防犯
	9	知り合いの子どもが多く防犯に役立つ	1防犯
観光・産業	10	景観がよく（牧場、放牧、菜の花）CMや映画等で使用された	2観光
	11	キャンプ場（駅に近く、パークゴルフ場もある）	2観光
	12	スポーツ施設・学べる施設・アウトドア環境がある	2観光
	13	カヌー作りができる	2観光
	14	みずほダムがある	2観光
	15	レジャーが楽しめる	2観光
	16	動くSLが見られる・乗れる（SLの保存状態がとても良い）	2観光
	17	鹿公園（鹿など動物と無料で触れ合える）	2観光
	18	季節感及び四季を楽しめる	2観光
	19	食べものおいしい（チーズ・アスパラ・卵・野菜など）	2観光
	20	安平山がありスキーができ、集客が見込める（初心者・アジア圏も可）	2観光
	21	競走馬の名産地であることは他には無い強みがあり世界にも通ずる	2観光
	22	ゴルフ場も多い	2観光
	23	温泉がある	2観光
	24	うまか祭りの花火	2観光
	25	有機農業の教育機会	2起業支援
	26	就農しやすい場所	2起業支援
	27	ジンギスカンがおいしい（さかき精肉店）	2商工業
28	特産品が多く、かつ優れている	2商工業	
29	チーズがおいしい（角谷、みやもと）	2商工業	
30	太陽光発電が日本最大級	2新エネ	
31	生産者から消費者までの距離が近い	2農林業	
32	新鮮かつ豊富な農産物が農家から直接買える	2農林業	
33	森林資源がたくさんある	2農林業	
34	有機農法をしている農家がある	2農林業	
35	米・長いも・豆類・メロンがおいしい	2農林業	
36	日本最古の保安林がある	2農林業	
インフラ	37	静かで寝るとき過ごしやすい・スローライフが楽しめる	3移住・定住
	38	土地が安い	3移住・定住
	39	町外から移住してくれる人が多い	3移住・定住
	40	川が町内を縦に流れている	3河川
	41	道路が走りやすい	3道路

大分類	No	選んだ強み	小分類
地理的強み	42	中心地へのアクセスが良い（札幌、千歳）	4公共交通
	43	気軽に都会へ行ける・通える（帰省含む）	4公共交通
	44	町が狭いので町内を利用しやすい	4公共交通
	45	デマンドバスが走っている	4公共交通
	46	高速IC、空港、港、JR（特急が停まる）が近く交通アクセスが良い	4公共交通
	47	空港に近く特急も停まるなど立地条件が良い	4公共交通
	48	福祉に力を入れている（グループホームなど）	4福祉
	文化・歴史	49	スポーツ（合宿所など）や文化に対する協力体制がある
50		スポーツを通じて人間関係を楽しめる	5スポーツ
51		野球場、リンク（屋内外）、温水プールなど施設が充実	5スポーツ
52		給食に地元野菜が出る	5子育て支援
53		保育施設が充実（待機児童ゼロ）	5子育て支援
54		生まれる前の支援、不妊治療女性拡大等	5子育て支援
55		追分旭保育園の送迎	5子育て支援
56		0歳児から入園できる。幼児教育の新しい形が始まる	5子育て支援
57		保育園から高校まである	5子育て支援
58		教育に熱心	5社会教育
59		進学先の選択肢が多い	5社会教育
60		子ども達のあいさつが素晴らしい	5社会教育
61		地域みんなで盛り上げられるイベント	5文化
62		デゴイチが素晴らしい	5文化
63		鉄道保存会が楽しい	5文化
64		日本最古のサイロ	5文化
65		SLや馬鉄の様な歴史的遺産がある	5文化
66		名馬の産地	5文化
コミュニティ	67	すごい人が年代問わず結構いる	6コミュニティ
	68	人があたたかく、優しいので困ったときに助け合える	6コミュニティ
	69	町民の繋がりが深く、仕事でも関われる	6コミュニティ
	70	景観、自然とふれあい、飲みニケーション全部できる	6コミュニティ
	71	お年寄りが多く、高齢者の経験値がある	6コミュニティ
	72	様々なサークル活動で住民の生活の満足度が高い	6コミュニティ
	73	直売所で新鮮な野菜購入や人との繋がりがあがる	6コミュニティ
	74	山菜など専門的な知識がある	6コミュニティ
	75	自治会・老人会など活動が盛んであり様々な集いの場がある	6コミュニティ
	76	役場職員の顔が見える（距離が近い）	6行政運営
	77	小さい町なので行政の目が個人に届きやすく見守られている	6行政運営
	78	都会より隣人との交流がある	6地域間交流
	79	盆踊りがたくさんある（交流のきっかけ）	6地域間交流
	80	地域の繋がりがあがる	6地域間交流
	81	自治会主体の高齢者サロンを実施している	6地域間交流
	82	みんなで考える町である	6町民参加・協働

①そのどういうところが強みなのか、なぜそれが強みなのか ②他市町村と比べて優れているのか  
 「あびらの強み」とするには、①・②の観点で、内容の掘下げが必要です。（2回目ワークショップで検討）

## 将来像が決まったら分野別の目標を定めます。

将来像（またはその方向性）が決まったら、活かすべき強みと克服すべき弱みを踏まえて「将来像を実現するためのやり方（戦略の方向性）」を定めていくことになります。



時間はいずれも 18:30から20:30まで

日 程 等			ワークショップテーマ
第1回目	6月8日(水)	追分公民館	◇10年後に安平町がどのようなまちになってほしいか考えましょう。
第2回目	6月28日(火)	早来町民センター	◇「目指すべきまちの姿」の実現に向けた安平町の「強み」を考えましょう。
第3回目	7月26日(火)	追分公民館	◇安平町の強みを活用した安平町の「目指すべきまちの姿」を明確にしましょう。 ◇明確になった「目指すべきまちの姿」を実現するため、各分野で何が必要かを考えましょう。(その1)
第4回目	8月30日(火)	早来町民センター	◇明確になった「目指すべきまちの姿」を実現するため、各分野で何が必要かを考えましょう。(その2)
第5回目	9月27日(火)	追分公民館	◇「10年後の目指すべきまちの姿」と実現したい各分野の方向性をまとめましょう。



# 第1回ワークショップ 10年後に安平町がどのようなまちになってほしいか考えましょう

平成28年6月8日（水） 18:30～20:30 追分公民館2F 中ホール

## 第1回目のワークショップのねらい

- 自己紹介を兼ね、安平町の印象について感想を述べ合うことで、立場・年齢などによって異なるイメージがあることを共有します。
- 将来も安平町で暮らす自分や家族の幸せな姿を想像し、「こんな安平町になってほしい」という理想像を共有します。

## 第1回目のプログラム

<p>①開会 (25分程度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会あいさつ（町長）</li> <li>・全体説明</li> <li>・総合計画策定アドバイザー助言</li> <li>・メンバー紹介</li> </ul>
<p>②ワークショップ (①5分+②20分+③50分)</p>	<p>①ワークショップルールについて説明</p> <p>②自己紹介を兼ねて、<b>安平町に住んでみて（活動してみて）の感想をそれぞれメンバーから発言していただきます。</b></p> <p>③10年後に安平町がどのようなまちであるべきか、どのようなまちにするべきか、「<b>目指すべきまちの姿</b>」をメンバーで考えていきます。</p>
<p>④まとめ (20分程度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ内容のグループごと発表</li> <li>・次回ワークショップ検討内容</li> </ul>

# 第2回ワークショップ「目指すべきまちの姿」の実現に向けた安平町の「強み」を考えましょう

平成28年6月28日（火） 18:30～20:30 早来町民センター2F 中集会室

## 第2回目のワークショップのねらい

- 「目指すべきまちの姿」を実現するために重要となる「安平町の強み」を考えます。
- 更に、特に重視するもの・伸ばすべき「強み」を掘下げていきます。

第2回目のプログラム	
①開会 (10分程度)	・第2回目の主旨説明 ・前回おさらい(まとめ結果は事前配布)
②ワークショップ (90分程度)	①安平町の「強み」とはどのようなところ？ ②お互いの話を聞いて新たに気づいた「強み」 はありますか？ ③目指すまちの姿を実現に向けて、特に重視するもの・伸ばすべき「強み」は何ですか？
④まとめ (20分程度)	・ワークショップ内容のグループごと発表 ・次回ワークショップ検討内容

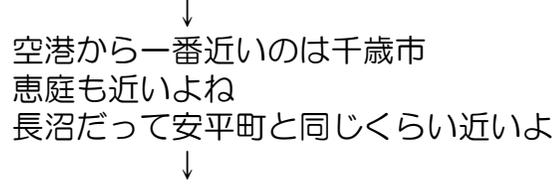
## 2回目のワークショップ開催に向けたお願い

第2回目の安平町の「強み」は何かを考えていただきます。

「強み」⇒ できるだけ「安平町」にしかないものと考えてみましょう。

- ・千歳や苫小牧、厚真にはなくて、安平町にだけあるもの。

例) 「安平町は空港から近い」



では、「空港から近い」ほかの町にはない安平町独自のものって何があるだろう？

**『強み』については、「周辺自治体には無く、安平町にあるもの」「町外に対して安平町を自慢できるもの」をいかに出せるかが勝負。**

3回目以降のワークショップの内容については、2回目までの進捗を踏まえてお知らせします